



珍しい三重奏に耳を傾ける

第111回新内ホールコンサート

第111回新内ホールコンサート「二胡・ファゴット・クラシックギターによる新感覚室内楽」が10月24日に開かれ、約40人の観客が訪れました。

二胡を遠山夕希子さん、ギターを藪田建吾さん、ファゴットを宮崎寿理さんが演奏。この3つの楽器による演奏は、珍しく、専用の楽譜もないため、ほとんどをオリジナルに編曲して演奏が行われました。

普段聴くことのできない珍しい三重奏に観客は引きこまれ、心地よい時間を過ごしました。

どんなきのこが生えているかな

新得おもしろ調査隊 きのこ勉強会

新得おもしろ調査隊（永井新隊長）主催のきのこ勉強会が10月14日、林業試験場内で開催され、約30人が参加しました。

きのこを採取しながら講師の植田博さんから種名や調理方法を学び、昼食時にはきのこ汁を食べ、きのこの見分け方、食の適・不適について学びました。

参加者は、注意深く林の中を探し、見つけると講師に積極的に質問し、見分け方や調理方法などを熱心にメモしていました。



3年生のラストステージ

新得中学校吹奏楽部定期演奏会



新得中学校吹奏楽部（石橋ふじ子部長、部員33人）が10月14日、町公民館大ホールで定期演奏会を開催しました。今回の演奏会が3年生にとっては最後の演奏会。3部構成で「アプローズ！」から始まり、新得ジュニア吹奏楽団と「小さな恋のうた」など2曲をジョイント演奏し、2部では踊りながら演奏するスタイルの「ダンプレ」を披露。3部では曲に合わせて衣装を変えたり、踊りを踊ったりし、観客も手拍子をして一緒に盛り上がりました。

3部の最後にはサプライズとして1、2年生から3年生へ「世界にひとつだけの花」の演奏と花束のプレゼントがあり、また、3年生からも「風になれ」の演奏があり、お互いに別れを惜しんでいました。

話題のアルバム

収穫の喜びを

共働学舎新得農場で新得小5年生が稲刈り

新得小学校の5年生39人が10月6日、共働学舎新得農場の田んぼで稲刈りを行いました。

この稲は、今年の6月8日に総合学習のお米づくり学習で田植えをしたもので、児童たちは同農場の百瀬雄二さんから稲の刈り方の説明を受け、鎌を手に稲の収穫に挑戦しました。

はじめは慣れない手つきで鎌の扱いにこずりましたが、徐々に慣れ、楽しそうに稲刈りを行いました。

刈り取った稲は天日で乾燥させ、11月に試食会を行うことが予定されています。



今シーズンも万全なコンディションで

新得山スキー場ゲレンデ整備

今シーズンの新得山スキー場のオープンに備えて10月7日、ゲレンデの整備が行われました。

ゲレンデの整備は今年で13回目となり、新得スキー連盟が呼びかけ、新得シニアスキー同好会や新得スキースポーツ少年団などの関係団体から15名が参加し、ジヤイアントコースの防風ネットの増設、スカイラインコースと中間コースの枝払いを行いました。

今シーズンの新得山スキー場のオープンは、12月23日を予定しています。



まちを元気づけるために

新得町復興支援プロレス

新得町復興支援プロレス（北のMC企画主催）が10月8日、町公民館ふれあいホールで開催され、北都プロレス所属のリッキー・フジ選手や池田昌樹選手などレスラー10人が会場を沸かせました。

試合前には、子どもたちとレスラーの対戦も行われ、試合では、新得町出身の北の五郎さんがレフェリーとしてリングに上がり、レスラーが繰り出す大技とコミカルなパフォーマンスに会場には歓声が飛び交いました。

益金の一部は、昨年の台風災害による復興支援のため、町に寄附されました。

まちの出来事をピックアップ

これからも元気に踊り続けましょう

新得音頭保存会結成15周年記念祝賀会

新得音頭保存会結成15周年記念祝賀会が10月15日、町公民館ふれあいホールで行われ、会員のほか新得幼稚園・屈足保育園の園児、父母、来賓など約140人が出席しました。

園児による子どもみこしで賑やかにスタートし、祝宴では園児が「ソーランしぶき」を元気いっぱい踊り、出席者全員での新得音頭、会員による「十勝小唄」、「これから音頭」、「サホロ」など15周年を盛大に祝いました。

千葉月世会長は、「高齢化が進んでいますが、いくつになってもみんなで元気いっぱい踊りつづけたい」と話しました。

